

(別紙5)

整理番号 2019P-077
補助事業名 2019年度 国際交流の推進 補助事業
補助事業者名 公益社団法人アジア協会アジア友の会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

有効な資源を再生紙、必要としている人々に贈ることにより、循環型経済社会に向けて人と地球に優しい自転車の活用促進を図る一方、同じ目的をもって国境を越えた協力体制・信頼関係を構築する中で国際交流の推進を図り、地域社会・国際社会で活躍、貢献できる人材を育成し、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

<https://jafs.or.jp/action/cycle-aid/>

大阪府内の7ヶ所（堺市、大阪市、八尾市、泉大津市、泉佐野市、高石市、東大阪市）から回収した引き取り手のない放置自転車を修理・再生し、自転車を必要としているカンボジアへ11月に370台の自転車を、またタイに350台、合計720台の自転車を贈った。また、この補助事業を様々な団体やイベントと連携して広報し、また国際交流プログラムとして活動の普及・啓発活動を行った。



補助事業について村人に説明
タイ



自転車寄贈式
タイ



自転車寄贈式
カンボジア



寄贈先の子も達と国際交流
カンボジア

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

自転車を増らしたタイでは現地の自転車協会と連携することで、安全で環境にも優しく、健康的な自転車利用について活動が大きく広がってきている。寄贈先ではNGO、地方行政、村人、学校の先生、保護者、地元有力者等が協力し合うことで、町全体をサイクルシティとして様々な方面から改善に取り組んでいる。自転車道や駐輪場所もつくられ、安全に自転車を活用できるよう地域全体で仕組みづくりや環境保全運動が進められている。自転車寄贈先の村の人々は自分の住む村から出たこともない人も多く、また日本に対してもあまり知らず、また良い印象を持っていない人もいるが、この事業を通じて「日本」をより深く知り、友情・親しみが芽生え、草の根の国際交流を促進している。今年度は近畿大学の国際学部と連携し、学生も日本国内および海外における事業の推進に参画し活動した。様々な世代のより多くのボランティアが事業に関わり進めることで、人々の善意の輪が広がり、地域社会・国際社会のために将来にわたって貢献できる人材が育成され、リーダーシップを発揮していくことが期待される。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

2019年度事業報告書 (<http://jafs.or.jp/action/cycle-aid/>)



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

機関紙 アジアネット141号

(<https://drive.google.com/file/d/1sMI89QWIk8pTTx2AdTCRz1kD6uV3UWck/view>)



(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 公益財団法人アジア協会アジア友の会
(コウエキシャダンホウジンアジアキョウカイアジアトモノカイ)
住 所 : 〒550-0002
大阪市西区江戸堀1丁目2番14号
代 表 者 : 会長 萩尾 千里 (ハギオ センリ)
担 当 部 署 : 総務 (ソウム)
担 当 者 名 : 業務主任 岡本佳子 (オカモト ヨシコ)
電 話 番 号 : 06-6444-0587
F A X : 06-6444-0581
E - m a i l : asia@jafs.or.jp
U R L : <http://jafs.or.jp/>